



令和2年
9月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 田中康善

**2学期が始まりました。
まだまだ厳しい暑さ！**

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年の夏休みは、8月8日～8月16日と大幅に短縮されました。8月17日子ども達の元気な声が戻ってきました。嬉しい限りです。暑さが厳しい中で2学期の始まりです。今年の夏は保護者の皆様にとりまして、いつもと違う夏を過ごされたことでしょうか。学校では、27日より通常の学校に戻りました。

2学期は、一年の中で最も長い学期となります。多くの教育活動もあります。しかし、今年のご存じの通り新型コロナウイルス感染症の為、その実施については延期したり、縮小したり、中止したりと変更を余儀なくされています。しかし、ウイルスコロナと言われるようにこの感染症とうまく付き合っていくことが求められています。高校野球の交流試合が開催されたように多くのスポーツ大会も十分な感染症対策を講じることで徐々に開催されています。新たな日常に対応しながら対応をされているその姿に逞しさを感じます。

中番小学校としても子ども達にとって価値ある活動、楽しみにしている活動については、その実施について、感染症対策等についてしっかりと検討していきたいと考えています。

その第1弾として、9月25日(金)に今年初めてのオープンスクールを開催します。感染症対策として、町別に大きく2班に分けて参観時間帯を設けます。できるだけ3密の回避を考慮した形です。保護者の皆様には参観時間帯について、ご無理とご迷惑をおかけしますがご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

心と体、健康に過ごそう！

改めて新型コロナウイルス感染症について考えてみたいと思います。新型コロナウイルス感染症は、子ども達だけでなく保護者、私たち教職員にとっても大きな影響を与えています。「新しい生活様式」なるものによって、今までとは違ったことが続いています。このことは恐らく徐々に慣れていくことが考えられますが、今は、正直慣れないところに精一杯です。私たちは、見えないところで意識していないところでストレスを感じているのだろうと思います。

特に子ども達は、敏感に感じていることだろうと思います。最近、読んだ教育雑誌に親子のためのストレス・コーピング(ストレス対処)についての記述を見つけました。そこには、①正しい情報を親子で共有すること、

②今までの規則正しい生活(睡眠・食事)を維持すること、③心にふたをせずに、どんなことでも話すこと、④家事を分担して、家族の役に立つこと、⑤互いに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えること、⑥身体を動かすこと、⑦ゲームだけでなく創造的な遊びをすることが大切であると書かれ、さらに、答えの出ない、どうにも対処のしようのない事態に耐える能力の重要性が言われていました。確かに、今は、感染リスクを軽減しながら、新たな日常に近づけていこうとしています。まさに、学校は、不安と心配、未解決なことがたくさんあるこの状況の中で、これという答えのない中で踏ん張る力が益々重要になっていきます。その中では、**今やれることからやっていく(最大限の努力)**という考え方が必要だと考えています。

子ども達の教育、安全については、保護者、地域の皆様と連携し、お力を貸していただきながら中番小学校の教育活動をさらに進めていきたいと考えています。ご理解とご支援を何卒、よろしくお願い申し上げます。